

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
池上 益世			
火3、火4			
添付ファイル			

科目の概要	集団や地域の栄養問題をアセスメントし、適切な公衆栄養プログラムを計画、実行、評価、改善という一連の公衆栄養マネジメントを学び、現在行われている公衆栄養プログラムを知ること、自ら組み立てる力を養うための概念と理論を理解する。
授業の内容	<p>第1回 栄養疫学の概要 教科書の栄養疫学、公衆栄養マネジメントの章を読み、内容を把握しておくこと</p> <p>第2回 公衆栄養プログラム—アセスメント 教科書の公衆栄養マネジメントの公衆栄養アセスメントの項目について内容を理解しておくこと。</p> <p>第3回 公衆栄養プログラム—計画① 教科書の栄養マネジメントの公衆栄養プログラムの目標設定の項目についてよく読んで内容を理解しておくこと。</p> <p>第4回 公衆栄養プログラム—計画② 公衆栄養プログラムにおける社会資源についてどのようなものがあるか調べておくこと。</p> <p>第5回 公衆栄養プログラム—評価 公衆栄養プログラムの授業内容について復習しておくこと。</p> <p>第6回 母子・学童・思春期のプログラム① 教科書の妊娠期から成長期の栄養プログラムの展開についての項目を読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>第7回 母子・学童・思春期のプログラム② 教科書にある主な母子保健施策に関する法律について調べておくこと。</p> <p>第8回 成人・高齢者のプログラム① 教科書の成人期から高齢期の栄養プログラムの展開についての項目を読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>第9回 成人・高齢者のプログラム② 成人期、高齢期における栄養プログラムに関する法律について調べておくこと。</p> <p>第10回 成人・高齢者のプログラム③ 成人期、高齢期における栄養プログラムに関する法律について調べておくこと。</p> <p>第11回 食環境づくりプログラム① 「食環境づくりプログラム」について、インターネット等を使って調べておくこと。</p> <p>第12回 食環境づくりプログラム② 大阪府における食環境づくりプログラムについてインターネット等を使って調べる。</p> <p>第13回 行政栄養士の役割① 市町村の管理栄養士業務について、市町村ホームページ等で調べておくこと。</p> <p>第14回 行政栄養士の役割② 都道府県の管理栄養士業務について、都道府県や保健所のホームページ等で調べておくこと。</p> <p>第15回 まとめ 過去の授業を振り返り、不明点があれば質問する等で、解決できるように準備すること。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	地域や職域における健康の維持・増進を目的として、それらを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報の収集、分析、評価、判定を行い、栄養関連サービス提供のマネジメントを実施するための理論と方法を学ぶ。
授業の方法	講義形式で行う。教科書及び配布プリントで授業を進める。練習問題や小テストを数回実施する。
成績評価の方法	定期試験（80%）、授業態度（10%）、小テスト（10%）
教科書・テキスト	公衆栄養学/第一出版/井上浩一他
参考書	国民衛生の動向（最新版）、国民健康・栄養調査報告書（健康栄養情報研究会編・第一出版）、栄養士必携（日本栄養士会編・第一出版）
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	社会情勢などを含めた幅広い知識が必要となるため、日々伝えられる報道に関心を持ち、積極的に公衆栄養の情報を収集する。

履修上の留意事項	公衆栄養臨地実習に関する科目です。意欲的に学習することを希望します。
オフィスアワー	金曜日 2限
担当教員への連絡方法	メールアドレス m-ikegami@osaka-aoyama.ac.jp
その他	公衆栄養学 I ・ 栄養教育論実習 I ・ 管理栄養士入門 ・ 公衆栄養臨地実習事前授業